

解析学 II 演習. 問題 5

2025 年 6 月 13 日

注意. 極限や級数に関して学んだ事柄はすべて用いてよいが、何を用了かを解答に明記すること.

例. $a > 1$ ならば, 任意の $k \in \mathbf{R}$ に対し $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{n^k}{a^n} = 0$

• $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n}$ は発散する. $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2}$ は収束する.

• 比較判定法, 優級数定理, ダランベールの判定法, コーシーの判定法

問題 5.1. 次の無限級数の収束, 発散を判定せよ.

$$(1) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{3n^2 + 1} \quad (2) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{3n^2 - 1} \quad (3) \sum_{n=1}^{\infty} \left(\frac{n}{2n+1}\right)^n \quad (4) \sum_{n=1}^{\infty} e^{-n + \frac{23}{n}}$$

問題 5.2. 次の無限級数の収束, 発散を判定せよ.

$$(1) \frac{1}{1 \cdot 3} + \frac{1}{2 \cdot 4} + \frac{1}{3 \cdot 5} + \cdots \quad (2) \sum_{n=2}^{\infty} \frac{1}{(\log n)^n} \quad (3) \sum_{n=1}^{\infty} (0.99)^n n^{99}$$

$$(4) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{1 + \log n} \quad ((4) \text{ のヒント: } \log n \text{ を何かと比較して, 比較判定法を用いる})$$

問題 5.3. $a > 1$ のとき, 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{n^2}{a^n}$ が収束することを 2 通りの議論により示す.

(1) $a = 1 + h$ とおき, $a^n = (1 + h)^n$ に対して二項定理を用いて, $\frac{n^4}{a^n} \rightarrow 0$ ($n \rightarrow \infty$) を示せ.

(2) $n \geq N$ ならば $\frac{n^2}{a^n} < \frac{1}{n^2}$ となる自然数 N が存在することを示せ.

(このことと $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2}$ が収束することから, 結論を得る.)

(3) $1 < b < a$ とすると, $n \geq N$ ならば $n^2 < \left(\frac{a}{b}\right)^n$, よって $\frac{n^2}{a^n} < \left(\frac{1}{b}\right)^n$ が成り立つような自然数 N が存在することを示せ. (ヒント: $\frac{a}{b} = 1 + h$ とおいて, $\frac{n^2}{(a/b)^n} = \frac{n^2}{(1+h)^n}$ と書くと, (1) と同様.)

(4) (3) を用いて, 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{n^2}{a^n}$ の収束を示せ.

問題 5.4. 次の問に答えよ.

(1) 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n-1}}{n^2} = 1 - \frac{1}{2^2} + \frac{1}{3^2} - \frac{1}{4^2} + \cdots$ が絶対収束することを示せ. また,

$$\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n-1}}{n^2} = \frac{1}{2} \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2} \text{ を示せ.}$$

(2) 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n-1}}{2n-1} = 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \cdots$ は絶対収束しないことを示せ.

問題は裏にもう 1 題ある.

問題 5.5. 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n-1}}{2n-1} = 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \dots$ を考える. 部分和を s_n とする: $s_n = \sum_{k=1}^n \frac{(-1)^{k-1}}{2k-1}$.

(1) $\{s_{2n-1}\}_{n=1}^{\infty}$ が単調減少であることを示せ.

(2) $\{s_{2n}\}_{n=1}^{\infty}$ が単調増加であることを示せ.

(3) s_1, s_2, s_3, s_4 を大きさの順に並べよ.

(4) $s_{2n} - s_{2n-1} < 0$ を確認し, s_1, s_2, \dots, s_{2n} を大きさの順に並べよ.

(5) $\{s_{2n-1}\}_{n=1}^{\infty}, \{s_{2n}\}_{n=1}^{\infty}$ の収束を示せ.

(6) 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n-1}}{2n-1} = 1 - \frac{1}{3} + \frac{1}{5} - \frac{1}{7} + \dots$ の収束を示せ.